

大学院ニュースレター

久留米大学大学院医学研究科

第 65 号 / 2012 年 12 月 27 日発行

編集 / 医学研究科長

『大学院のすすめ』

タイトルを畏れ多くも福澤諭吉先生の名著、「学問のすすめ」を参考にさせて頂いた。近年、福澤諭吉先生の「学問のすすめ」は読みやすい形で、サブタイトルをつけて各社から新書または中古で現代訳をつけて出版されている。人の気持ちを打つ共感できる本・言葉は永遠なのだと思う。

各出版社は、自分の道を自分で切りひらくために、人は学び続けなければならない、等の用語がついている。当教室のモットーは、「医療は温かく、医学は厳しく」が申し送られてきた。日々発展する医学・医療に応じてベストの医療を提供するため、日々精進しなければならない事を表している。私は、自分の考えで大学院に行かなかった。勉強は自分でできるし、テーマも選べる、何よりも卒業後も学費を自分で払う、親に負担をかけるのが嫌であったからである。昔は大学病院で仕事をしながら、教授からテーマを頂くか、自分で探すしか選択が無かった。当時も医療現場は多忙であったが、現代と比べると何事も「ゆとり」があった時代であったし、じっくり考える選択肢も多かった。幸い、私の恩師の二人の教授は、大変柔軟な考えの先生方であった。私が選択した小児神経の分野は教授の専門でなかった為、何でも任せて自由にさせて下さり、陰でサポートして頂いた。更に小児神経の先輩達が早く大学を辞められたため、自分で研究を切り開き、全てを早くから任されたが、それも自分には合っていた気がする。

小児科学講座 教授 松石 豊次郎

国内一国外留学の機会を与えて頂き、多くの尊敬するモデルとなる臨床家、研究者とも出会った事は財産である。

近年は、厚生労働省の方針で、医学生は卒業後、基礎に進む人は少なく、2年間の初期研修に入る。また、研修先の選択として、市中病院でプライマリ・ケアを選ぶ事が多いが、一生その道しか知らない医師も出てきている。医療の狭い分野では、自分が最初に出会った指導医、先輩の影響は計り知れない程大きいのでモデル像の確立で心配である。

私は 37 年以上の医師生活を送ってきたが、幅広く医学全般を学び、その後、自分の好きな分野を深め専門性を持つ事で、多くの喜びが得られ生涯学習の基礎が築かれる事を痛感する。長寿および医師不足により、医師の現役のキャリア生活は長くなり、一生、新しい知識、技術について行くため生涯学習の仕方を覚える経験が必要である。学生時代、卒後の初期研修、後期研修時代は生涯学習に向けた真の勉強の仕方、自己学習の仕方を覚える事であると思う。現場で学ぶ経験、教科書、資料、文献を批判的に読める力も必要である。

幸い、ここ数年、小児科教室では、初期研修後、後期研修の途中で大学院を目指す医師が増えてきている。更に大学院には行かなくても、一定期間、基礎および臨床研究をやってみたいという医師が増え、学位を取得する医師が増加傾向であるが、この現象が一過性で無い事を願う。大学院生は、

自分で実験的な事、基礎の研究を行い、必ず英語で完成する事を指示しているが貴重な経験であると確信する。基本的には国際社会、特に医学会は英語を必要とする為である。また、大学院生にはインセンティブをつけて、できるだけ論文、研究が完成するまでは出張の義務、雑用を減らしてサポートする雰囲気確立する事を心掛けている。英語を勉強し、研究をした先輩医師達は、海外で就職し、准教授その他のスタッフとして活躍し、医学生の短期間受け入れ、海外見学をマネージしてくれている。

日本が、ガラパゴス化しないように、国際性を高め海外交流する事は必須であり、内向きにならないように外に目を向ける指導が必要であろう。直近の問題として TPP という用語が政治、経済で頻繁に出てくるようになった。賛成、反対に関わらず若手—中堅医師はいかなる時代にも対応できるように準備しておくべきであろう。地球のグローバル化は医学の世界でも思ったより早く進んでおり、特に医学生や若手医師は、アジア圏はもとより、北米やヨーロッパ、および海外の諸勢力と渡り合う力を備えておく事が必要であろう。

事務通信

◆修士課程第2学年学生の皆様へ◆

学位論文提出と年度末スケジュール



1. 学位論文申請書類と提出期限

〔提出期限：平成25年1月18日（金）17時（時間厳守）までに庶務課に提出〕

- ① 学位論文審査願 1通
- ② 主論文 5通（印刷公表が望ましい）
- ③ 参考論文 各3通（作成している者のみ）
- ④ 論文目録 1通
- ⑤ 論文要旨 1通
- ⑥ 履歴書 1通
- ⑦ 単位修得証明書 1通（教務課にて準備する）
- ⑧ 写真（4×3cm） 1枚

申請書類については、医学研究科ホームページ (<http://gmed.kurume-u.ac.jp/>) の書式ダウンロードページより入手して下さい。また、申請書類のうち①～⑥については、下書きを提出締切日前に学位担当に提出し、事前にチェックを受けられるようお願いいたします。

〔学位担当：医学部事務部庶務課 中村（内線 3014）E-mail：nakamura_kana@kurume-u.ac.jp〕

2. 口述試験〔期間：平成25年2月1日～2月15日〕

*詳細については学位申請時に説明。

3. 最終審査〔平成25年2月27日〕

*可否については3月1日以降各々指導教授に確認すること。

4. 学位記授与式〔平成25年3月27日11時～〕

*場所：筑水会館2階イベントホール



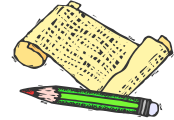
◆博士課程第1学年学生の皆様へ◆

研究題目調査実施について

博士課程1年生を対象に、平成25年2月上旬ごろ研究題目調査を実施します。この調査は博士課程在学中の各自の研究テーマを調査するためのもので、久留米大学院医学研究科規程第9条に基づき、第2学年前期の始まる前までに決定することと定義されております。調査書類が届きましたら、必要事項記入の上、期日までに必ず医学部事務部教務課までご返送下さい。

◆博士課程第4学年学生の皆様へ◆

学位論文提出の手続きはお済みですか？



博士課程4年生で今年度中に学位論文を提出し、修了を予定する方は、既に配布したスケジュールに沿って準備をお願いします。なお、提出しない方については、平成25年2月上旬ごろを目途に医学部事務部教務課から「在学期間延長・単位修得満期退学希望調査」を実施しますので、その際にご回答をお願い致します。



講義情報

★博士「プロテオーム／ペプチド解析」

- ・講義日程：平成25年1月8日東元、15日津留、29日永田
(教育1号館5階1501教室)

- ・レポート 提出日：平成25年2月15日(金)17時締切 提出先：医学部事務部教務課窓口

「臨床・基礎研究と生命倫理(コンサルテーション)」

- ・レポート 提出日：平成25年1月31日(木)17時締切 提出先：緩和ケアセンター福重教授

「科学的根拠に基づく医療(EBM)」

- ・レポート 提出日：平成25年2月1日(金)17時締切 提出先：医学部事務部教務課窓口



お知らせ

学生駐車場募集について



現在大学院に在籍する学生の平成25年度学生駐車場の申請については、例年1月末～2月初旬に受け付けております。正式な公募要領は駐車場委員会で審議され、決定されます。当該時期になりましたら、各所属講座や医学研究科ホームページを通じてお知らせしますので、申請を希望される方はご確認をお願いします。

2013年度第8回「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」募集について

ロレアル-ユネスコ女性科学者日本奨励賞事務局より、生命科学、物質科学の分野において、博士課程に在籍あるいは進学予定の40歳未満の女性で、交付後1年間国内で教育・研究に従事できる方を対象とした、奨学金無償給付のお知らせが届いております。募集に関する詳細についてはロレアルホームページにて各自ご確認ください。

日本ロレアルホームページ <http://www.nihon-loreal.co.jp/ja/jp/index.aspx>

前期入学試験結果発表!!

平成24年10月16日（火）に行われた前期入学試験の結果は下記の通りです。
後期試験については次項のとおり実施します。

	修士課程	博士課程
志願者	3名	5名
受験者	3名	5名
合格者	2名	5名

平成25年度大学院医学研究科後期入学試験のお知らせ

【試験日程】修士・博士ともに同一

出願受付期間：平成25年1月15日（火）～平成25年1月25日（金）

試験期日：平成25年2月19日（火）

合格発表：平成25年3月15日（金）午前10時

【試験内容】

*修士課程

英語・小論文・面接 ≪基礎医学・社会医学・分子生命科学・臨床看護学群≫

英語・面接 ≪バイオ統計学群≫

*博士課程

英語・面接

別途、科目等履修生も募集しております。身近な方で、医学研究科に興味・関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ご紹介の程どうぞよろしくお願い致します。



編集後記

2012年も残りわずかになりました。今年は金環日食、オリンピックアスリートの活躍、ノーベル賞受賞など大きな出来事がありました。こうした中、今年の漢字に「金」が選出されました。2013年も金のように素晴らしい一年となりますように。良いお年をお迎えください。（瀧）